

浄化型排水路における別海高校植樹会の開催について

～国営環境保全型かんがい排水事業で整備した浄化型排水路で植樹会を実施します～

釧路開発建設部が実施した、国営環境保全型かんがい排水事業の浄化型排水路整備の一環として別海高校酪農経営科1年生、2年生、3年生と協働で植樹会を開催します。

浄化型排水路は、農地から流れ出る牛のふん尿や土砂等の水質汚濁物質が河川へと流れ込むのを抑制し、河川・湖沼水質環境の改善等を図るため、整備をしています。

別海町では、平成26年4月1日に「別海町畜産環境に関する条例」が制定される等、地域として良好な水環境の保全に取り組んでおります。

この植樹活動は、平成16年に当時の1年生が樹木の種から苗を育て、2年後の3年生になった時に植樹会を実施したことが始まりです。これまでに延べ300名以上の生徒により、約2,600本の植樹が行われている歴史ある取組であり、令和7年3月には「第27回日本水大賞」の「農林水産大臣賞」を受賞しております。

なお、詳細は別紙のとおりです。

記

- 日時 令和7年6月18日（水）10：20～12：00（雨天延期）
- 場所 野付郡別海町西春別326 「熊川2号排水路」
- 参加者 別海高校酪農経営科1年生、2年生、3年生（16名）

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

根室農業事務所 所長 新田 康二 電話：0153-79-5155

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



令和7年6月13日

釧路開発建設部

浄化型排水路における別海高校植樹会の開催について

国営環境保全型かんがい排水事業で整備した浄化型排水路において、別海高校酪農経営科の生徒と協働して植樹会を実施します。

別海町は、昭和30年代より根釧パイロットファーム事業や新酪農村建設事業をはじめとする各種の農業農村整備事業により、今日までに我が国有数の大規模酪農地帯として発展してきました。今後も本地域は、食料安定供給の役割を通じて国民生活の安定に貢献していくことが期待されています。

現在、本地域の農業用排水施設は、老朽化等により農業経営に支障をきたしているとともに、地域の火山性土壌の特性や家畜ふん尿の河川流出により、周辺環境への影響が懸念されています。

そのため北海道開発局では、生産性の向上と併せて、環境への負荷に配慮した環境保全型農業の推進を目指し、平成11年度から国営環境保全型かんがい排水事業「別海地区」をはじめ、「別海南部地区」「別海西部地区」を実施し、現在「別海北部地区」が実施中です。

国営環境保全型かんがい排水事業では、家畜ふん尿等の適正な農地還元を可能とする肥培かんがい施設とともに、排水路沿いに林帯を有する浄化型排水路の整備を行います。この林帯は、農地から排水路への土砂、汚濁物質の流入を抑制し、下流河川・湖沼水質の改善機能を発揮するものです。

また林帯は、水質浄化以外にも、動物の移動生息域の確保、地域特有の農村景観の形成、気候緩和など多面的機能を持つことが期待されています。

当建設部では、このような地域の自然環境改善に資する事業に対し、地域の方々に関心を持っていただくため、排水路林帯整備に地域酪農の将来を担う別海高校酪農経営科の生徒と協働し、この度の植樹会を開催いたします。

なお、別海高校はこれまでの当植樹会における活動について、令和7年3月に「第27回日本水大賞」の「農林水産大臣賞」を受賞しております。

開催日程は、6月18日（水）10：20より、場所は「別海西部地区」で整備した熊川2号排水路の約1,000㎡の敷地です。

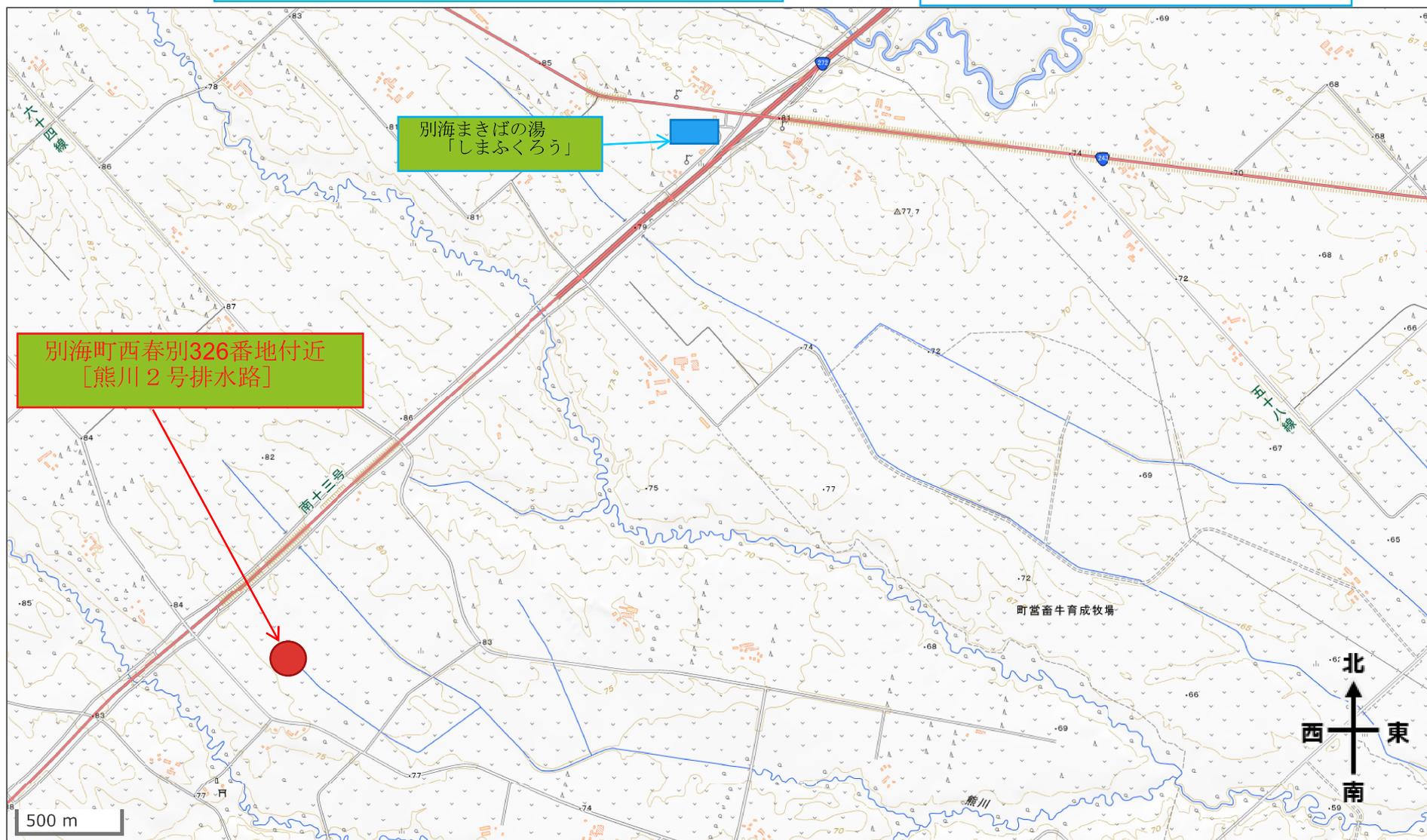
植樹は、ナナカマドやミズナラなど130本程度を実施する予定です。

○日本水大賞について

日本水大賞は、21世紀の日本のみならず地球全体を視野に入れて、水循環系の健全化を目指し、美しい水が紡ぎ出す自然の豊かさの中にも水災害に対して強靱な国土と社会の実現に寄与することを目的として平成10年に創設されました。（<https://www.japanriver.or.jp/taisyo/>）

問い合わせ先：根室農業事務所 所長 新田 康二

電話 0153-79-5155



別海高校 「苗づくり」から「植樹」までの流れ



①播種



②鉢上げ



③栽培管理



④成長した苗



⑤植樹



植樹全景(H27年)



植樹全景「6年経過」(R3年)